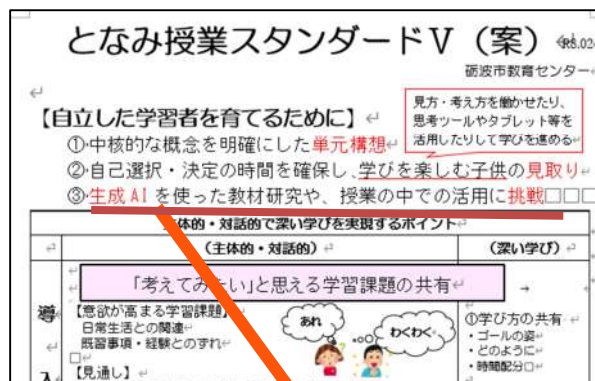


令和8年度 自立した学習者の育成に向けて

資料イ



○これまでの授業改善によって
子供自身が課題への意識を高め、友達と話し合ったり、ICTを活用したりしながら学びを深めるなど、自分の学びを調整しながら主体的に学習を進めることができるようになってきた。

今後、ICT活用、情報活用能力の育成を図りながらさらに授業改善を進める。

○令和8年度から

(1)生成AIを使った教材研究や、授業の中での活用に挑戦することを推奨

・11月21日(金) ICT活用(生成AI)研修会を実施

講師 放送大学 教授 中川 一史 先生

金沢大学学校教育学類附属コラボレーション推進室 室長 福田 晃 先生



中川先生のご講演：
生成AIの教育現場での活用状況や、
児童・生徒、保護者への周知事例について



福田先生とのワークショップ：
実際に生成AIを使用する中で、目的や用途に応じてプロンプトの種類を使い分けることの有効性を、身をもって実感

(2)いじめ等の早期発見・早期解決に向けて

小学校40分授業

すべての小学校で令和8年度より実施予定

朝の健康観察だけでなく午後の空いた時間に「午後の心の健康観察」を行う。

タブレットで子供が打ち込み



一覧になったものを教員が確認
気になる子供が一目で分かる

心の状態照会（個別） / 出欠管理

2025年度 2025-09 6学年 1組 検索 印刷 コメントあり

☒ 確認済み: 2025/09/19 08:14 午前

出欠席モード

出席番号	学生名前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
2		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
3		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
4			☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
5		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
6		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
7			☺	☺	☺	早			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
8			☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				欠	☺	☺	☺											
9		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
10		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺											
11		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
12		☺	遅	遅	遅	遅			遅	遅	遅	遅	遅				遅	遅	遅	遅											
13			☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
14				☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											
15		☺	☺	☺	☺	☺			☺	☺	☺	☺	☺				☺	☺	☺	☺											

現在試行した学校での効果について

- ・昼休み後に「午後の心の健康観察」を行うことで、子供たちの心の状態を把握し、いじめ等の早期発見・解決を図ることが期待できる。
- ・個別に子供と話をする時間が確保できる。
- ・集中力の高い午前中に5限の学習を行うことができる。また、子供が集中して学習に取り組んでいる。
- ・40分授業になるが、子供たちが主体的に学習に取り組む授業改善が進んでおり、学力低下の心配はないと考えている。